

「快報 風険消息」は、中国に拠点をお持ちの企業の皆様にお届けするリスク情報誌「中国風険消息」の速報版です。

2022年11月28日

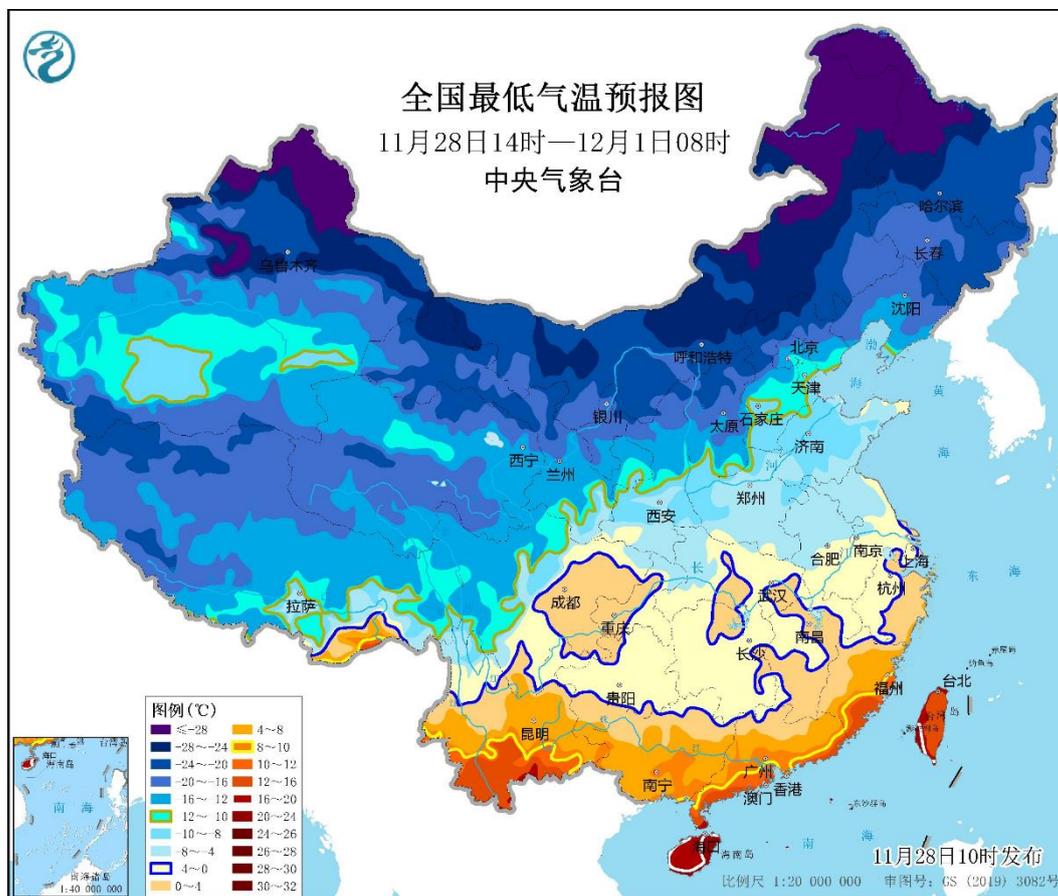
寒波による凍結防止の安全注意事項

今冬一番の寒波が襲来！！

11月28日～30日にかけて、中国西部から東部に位置するほとんどの地域へ寒波の影響（急激な気温低下、強風、砂塵、広範囲での降雨・降雪など）が及ぶと予測されている。これらの地域では気温が8℃～14℃（局地的には16℃以上）近く低下する可能性がある。また、12月初めにかけて、多くの地域では、今年下半期一番の低温を記録するとされている（長江中下流域では最高気温が10℃未満となり、広範囲で降雨・降雪となる）。

中東部に位置する地域では、11月前半の気温が平年よりもやや高かったが、今回の寒波が通過した後は、本格的な寒冷シーズンが到来する。12月1日から2日にかけては、江南北部から貴州南部よりも北の地域は軒並み最低気温が0℃を下回る可能性がある。当該エリア圏内の企業は十分に注意する必要がある。

11月28日10時時点で中央气象台が発表している最低気温予報は下図のとおりである。





応急対策のポイント

寒波による凍害事故を予防し、冬季における工場の各種設備・装置の安定操業を確保するため、工場では事前の応急対策を徹底する必要がある（確認項目の詳細は下表を参照）。

組織制度

| 確認項目 | | |
|------|---|--------------------------|
| 1 | 天気予報を注視し、「寒波」「大雪」等に関する警報等を早期に把握する。 | <input type="checkbox"/> |
| 2 | 担当エリアごとに防凍に関する責任体制を組織し、具体的な取組を推進する。 すべての班員が凍結防止対策に注意して取組む。 | <input type="checkbox"/> |
| 3 | 凍害事故の登録、設備の凍結防止状況、凍結しやすい配管の状況等を含め、凍結防止台帳を正しく整備する。 | <input type="checkbox"/> |
| 4 | 凍害防止を目的とした巡視員・巡視頻度を定める。 凍害の被害を受ける可能性のある設備、配管、臨時建築物について統計を取り、凍害防止に関する書面記録を作成する（逐一、検査・改善確認を行う）。 巡視時の重点項目は下記のとおり： 屋外設置設備、制御弁、生産用水設備、屋外圧力計・メーター。 | <input type="checkbox"/> |

配管凍結防止

| 確認項目 | | |
|------|--|--------------------------|
| 1 | 地上に敷設されており、かつ水量が多くない場合は、配管末端に水抜き用の弁を設置する。 常に水の流れを維持して凍結防止を図り、必要に応じて配管に保温対策を講じる。 | <input type="checkbox"/> |
| 2 | 長時間使用しない配管は、両側のフランジを分解して、内部の水を排出する。 必要に応じてエアパージを行い、配管内に水が残らないようにする。 | <input type="checkbox"/> |
| 3 | 屋外の空調システムの冷凍水配管は、配管内の冷凍水をすべて排出する。 | <input type="checkbox"/> |
| 4 | 屋外の水道、水道メーター、蛇口、バルブなどに保温材を設置する。 <通常、配管の保温材にはロックウールや柔軟性を有するゴム保温材を選択する> | <input type="checkbox"/> |
| 5 | 弁、配管、計器等に電熱線などを設置する。 | <input type="checkbox"/> |

設備・機器凍結防止

| 確認項目 | | |
|------|---|--------------------------|
| 1 | 一時的に使用しない屋外設置のポンプは、水の供給（水源）を停止し、エアパージする。ポンプを停止できない場合には、配管内の一定の流速・流量を確保する。 | <input type="checkbox"/> |
| 2 | 冷却水塔の出入口配管、弁、ポンプ、圧力計、計量計などに保温防護対策を講じる。 | <input type="checkbox"/> |
| 3 | 重要設備のガラス水位計・計器・弁は、現場設備からの漏水、油漏れがないようにする。地面・床面の水溜まり、油溜まりを清掃する。 | <input type="checkbox"/> |
| 4 | 設備機械室のすべての扉・窓を閉鎖し、室内の環境温度が0℃以上を維持する。排気の強化を図り、発生する可能性のある可燃性ガスの滞留を防止する。 | <input type="checkbox"/> |
| 5 | 冷却システム関連の機械設備は、気温が5℃以下となる場合には、毎日水の放出を確認し、不凍液を加える。 | <input type="checkbox"/> |

消防設備凍結防止

| 確認項目 | | |
|------|---|--------------------------|
| 1 | 水抜き用の弁を開放し、屋外消火栓に残留する水を排出する。布巾等で排水口の水分を拭き取り、乾燥状態を維持し、消火栓の凍結破裂を防止する。必要に応じて、凍結防止用の保温カバーを設置する。 | <input type="checkbox"/> |
| 2 | 屋外消防配管、弁を保温材料で防護し、防凍対策を講じる。 | <input type="checkbox"/> |
| 3 | 消防ポンプ室の最低温度に関する基準を遵守する。 (厳寒・寒冷地区の暖房温度は10℃未満、無人の際は5℃未満であってはならない) | <input type="checkbox"/> |

以上

執筆 インターリスク上海 コンサルティング部 高級経理 楊奥

瑛得管理諮詢（上海）は、中国・上海に設立されたMS&ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

＜お問い合わせ先＞

瑛得管理諮詢（上海）有限公司（日本語表記：インターリスク上海）
 上海市浦東新区世紀大道100号 上海環球金融中心34楼T10室-2
 TEL: +86-(0)21-6841-0611（代表）



瑛得公众号